

---

# 情報発信（ジャパンパビリオン）

---

# COP29ジャパン・パビリオン

- 会場内にジャパン・パビリオンを設置
- 日本の環境技術と気候変動への取組を世界に発信



テーマ：

**Solutions to the World**

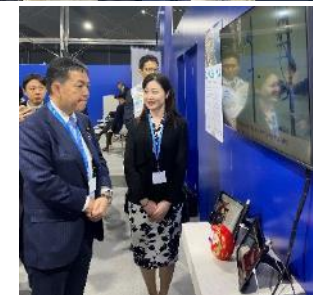
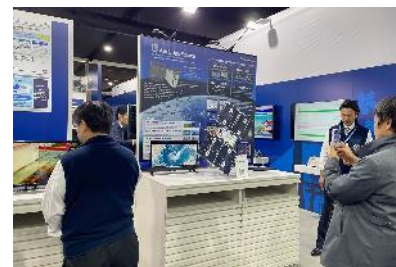
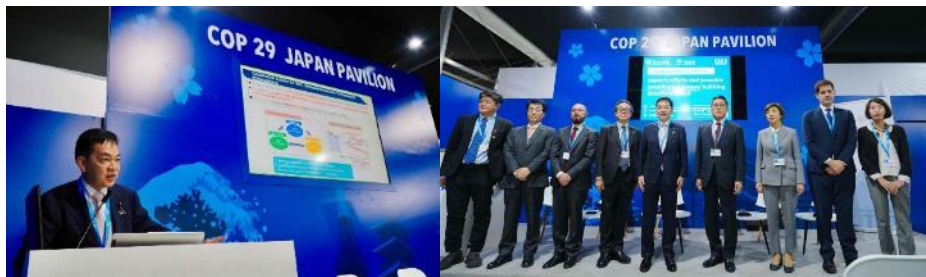
## セミナー

- 36件
  - 衛星GOSATシリーズの新たな展開
  - 気候変動適応×健康
  - アジア太平洋地域における早期警戒システムの更なる推進
  - ネット・ゼロ社会実現に向けた全ガス・全セクター削減
  - 建築物の脱炭素化に向けた日本の取組と貢献
  - 第10回JCMパートナー国会合
  - 脱炭素に向けた都市間連携
  - フロンのライフサイクルマネジメント
  - サステナブルファイナンス

など

## 技術展示

- 実地展示
  - ◆ 企業展示(11件)  
アークエッジ・スペース、AGC、大成建設、地圏環境テクノロジー、適応ファイナンスコンソーシアム、日東電工、日本CCS調査、パナソニックホールディングス、日立グループ、カナデビア（旧・日立造船）、三菱重工
  - ◆ 福島の実況
  - ◆ GOSAT



## イニシアティブの発表、関係機関との署名

- 11月18日の「ネット・ゼロ社会実現に向けた全ガス・全セクター削減セミナー」にて**イニシアティブ「NDC実施と透明性向上に向けた共同行動」を発表**。アジア開発銀行（ADB）、国連工業開発機関（UNIDO）、アフリカ開発銀行（AfDB）、欧州復興開発銀行（EBRD）の関係者に参加いただき、国際機関との連携を強化
- EBRDとの間では、COP期間中に今後の協力に向けた覚書に署名**
- 浅尾大臣は合計9つのセミナー**（環境省主催6つ、経団連、日経、JEFMA）に登壇。アゼルバイジャン、EU、中国などとの二国間会合に参加。



# 環境省の様々な国際的な取組を発信

- 環境省の様々な国際的な取組についてセミナーを実施し、**関係者との更なる連携強化を確認するとともに、成果を発信。**（下記以外にも早期警戒システム（EWS）、フロン、GOSAT、シナジーなど）

CEREP



PASTI



A6IP



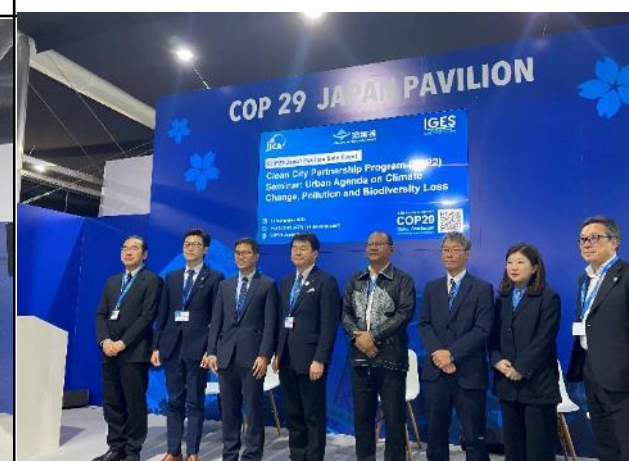
第10回JCMパートナー国会合



AIM



都市間連携



## 建築物の脱炭素化に向けた日本の取組と貢献（地球局住建室主催）

建築物・建築分野の脱炭素化に関する日本の取組を紹介するとともに、他地域の専門家とともに、同部門の脱炭素化を加速化するための方策について議論



## 気候変動の時代における新たな感染脅威と革新的な国際協力 （地球局気候変動科学・適応室主催）

気候変動と健康の相関関係を確認し、感染予防に有力なワクチンについて武田薬品の取組みを紹介。気候変動と健康に関する専門家を交えてデング熱感染症の有効な対策について議論



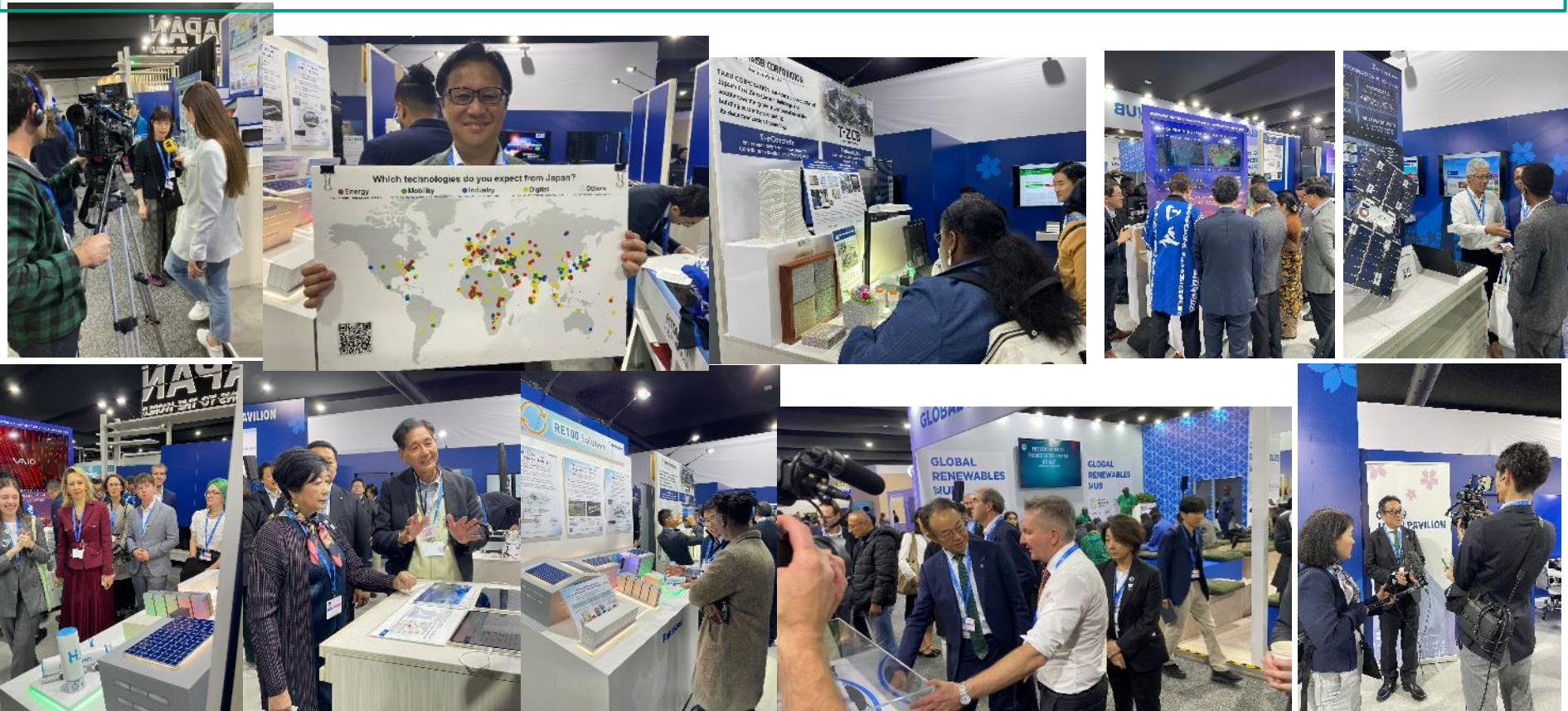
## 循環経済の実現に向けた廃棄物・資源分野における脱炭素技術 （環境衛生施設工業会（JEFMA）主催）

ごみ処理プラントのメーカー団体である日本環境衛生施設工業会が廃棄物処理の発展に伴うGHG排出削減の道筋、これを支える日本の廃棄物処理技術、ネット・ゼロ達成、循環経済の実現を目指した最新の取組について講演



# 技術展示は今回も大盛況

- 来訪者にアンケートを取ったところ110カ国を超える国の人が訪れた展示もあった。
- 浅尾大臣、小池都知事、さいたま市長、参議院越智議員、宮崎議員、フィリピン・イスラエル・オーストラリア・カザフスタンの大臣、パラオの大統領と多くのVIPが来訪（確認できたのみであり、更に多くのVIPが来訪したものと考えられる）
- 海外・現地メディアの取材多数。今年もNHKの7時のニュースで5分程度の枠で放映された。
- 「コーヒーやものでお客をつることなく、純粋な技術とセミナーだけをやっている日本のパビリオンこそが最も素晴らしい」というコメントがあったらしい。



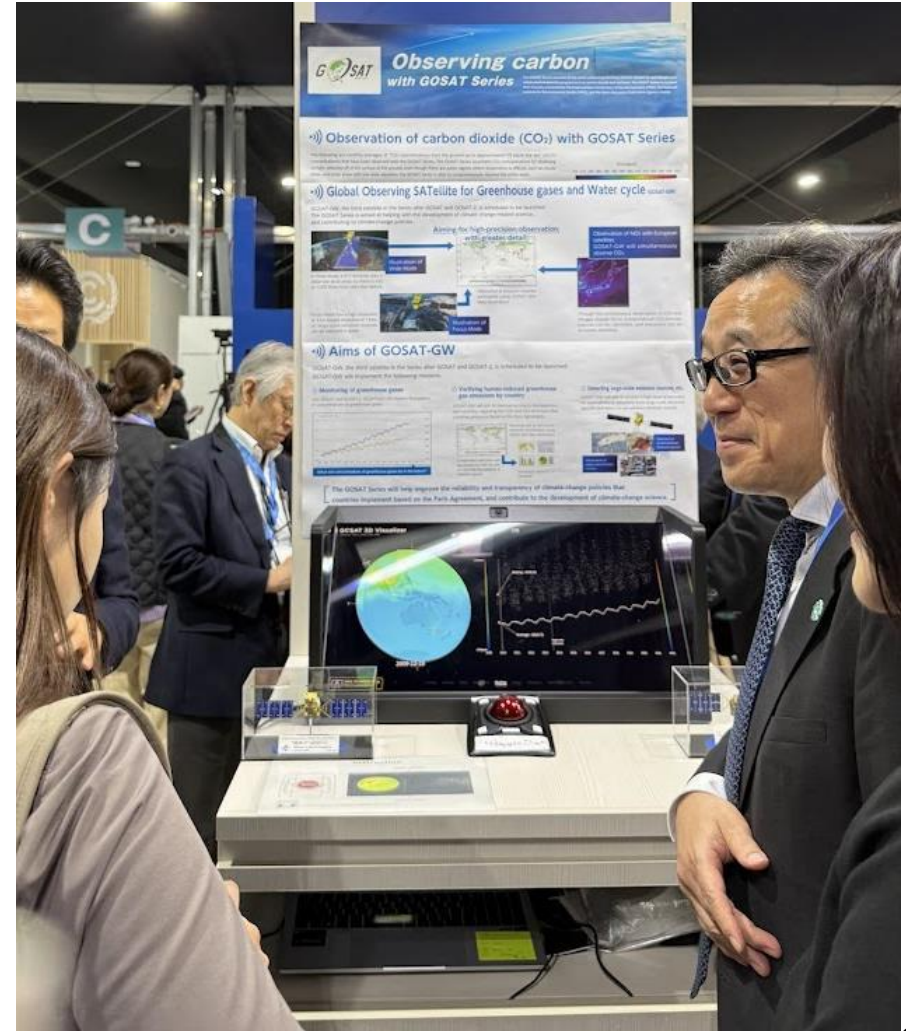
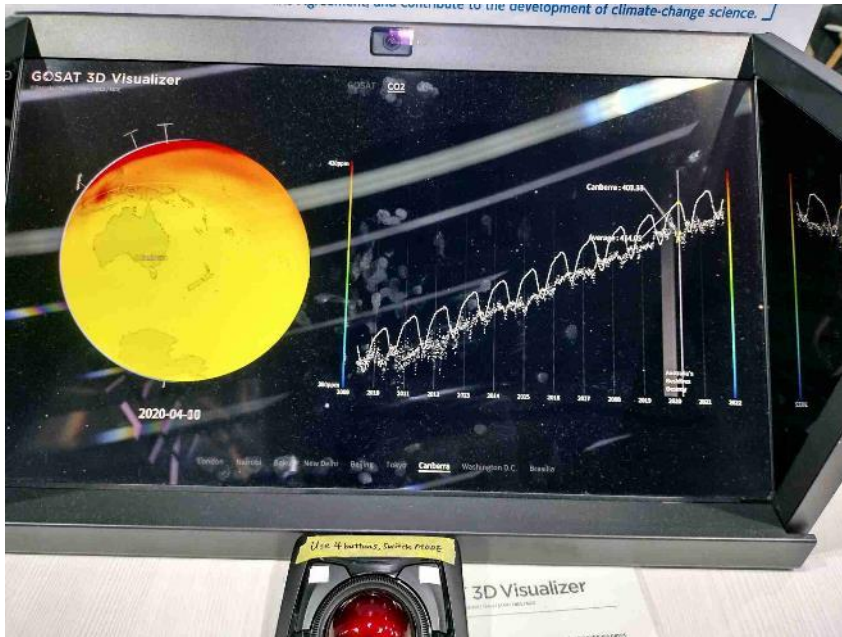
# ジャパンパビリオンでのGOSAT展示

日本のデザインスタジオ、バスキュール社が制作した3Dにより温室効果ガス観測技術衛星（GOSAT）の観測成果を体感いただいた。

## GOSAT 3D Visualizer

©Bascule/Tellus/NIES/MOE

original data provided by JAXA/NIES/MOE



## その他

- 松澤地球環境審議官を中心にジャパンパビリオン以外の19件のセミナーに登壇。テーマは、気候変動・生物多様性・循環経済・プラスチック・海洋汚染など様々。
- 数多くの国とバイ会談**（セネガル、キルギス、オマーン、モルディブ、ラオス、カタール、タイDCCE、フィリピンDENR、EU議員団、米下院エネルギー商業委員会、CCAC、EBRD、インドネシア大統領顧問、インドネシアハシム気候変動特使、ドイツ、ベトナム、メキシコ）
- 各セミナー、バイの中では、様々なJPRSI会員の方々が実施している実プロジェクトの内容についても発信・議論を実施。**



インドネシア



ウクライナ



フィリピン



アゼルバイジャンのイベント



タイ



プラのイベント



インド



セネガル



例年通りのセミナー、技術展示を行いたいが、詳細未定です・・・

# 株式会社脱炭素化支援機構（JICN）の紹介



- カーボンニュートラル関連ビジネスにリスクマネーを提供

※補助金や利子補給ではありません。

- 資金規模：資本金等289億円（国が継続的に資本増強予定、R7予算（案）額（産業投資）350億円）
  - 支援決定実績：32件・約300億円（2022年10月～2024年末現在）



温対法に基づく環境大臣認可により  
2022年設立